

入局者自己紹介



阿久津 裕子

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

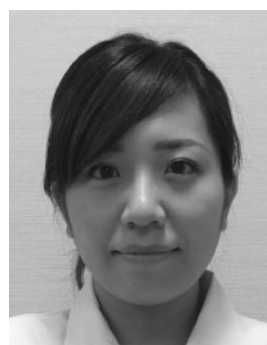
平成26年に入局させて頂きました阿久津裕子と申します。学生の頃から小児科学に興味をもち、大学4年生の時にはプロジェクトセメスターにて小児科研究室に配属させて頂き、森尾友宏教授をはじめとした多くの先生方や研究室スタッフの皆様ののおかげで小児科への思いをさらに強くすることが出来ました。そして昨年念願である東京医科歯科大学小児科医局員の一員になることが出来て、大変嬉しく思います。

私は現在後期研修2年目として土浦協同病院小児科にて勉強させて頂いております。臨床の面白さを日々目の当りにし、ますます小児科の魅力にはまり込んでいる最中です。

将来の進路については未定ではありますが、疾患や臓器の枠にとらわれずに幅広く子供達を診療出来るようになりたいと思っております。また基礎研究にも非常に興味があり、今後携わっていかれたらと思っています。

一方私事ではありますが、今年4歳になる息子の育児中でもあり、母として一人の人間としても勉強の毎日です。周囲の多くの助けにより仕事も育児も欲張ってやらせて頂いており、好きな仕事を好きなだけさせて頂けることに感謝しております。

まだまだ未熟ではありますが、一日も早く一人前の小児科医になれるよう精進して参ります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い致します。



安達 恵利子

出身大学：
滋賀医科大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

この度、東京医科歯科大学小児科学教室に入局させて頂きました安達恵利子です。

東京都出身ですが大学は滋賀医科大学を卒業し、その後は東京医科歯科大学のプログラムで初期研修を行いました。初期研修2年目では大学病院小児科を4ヶ月、土浦協同病院小児科を1ヶ月研修させて頂きました。

元々小児科医療について興味があり、また2年目で小児科の先生方に指導していただく事でさらに小児科への魅力が強くなり、入局させて頂いた次第です。

後期研修では3年目に土浦協同病院の新生児科、小児科、茨城県立こども病院の血液腫瘍科で研修させて頂きました。2015年7月からは草加市立病院小児科で研修させて頂いています。

今後小児科の中ではどの分野に進むかは決まっておりますませんが様々な症例を経験し専門を決めていきたいと思っておりますのでよろしく御願い致します。

まだまだ未熟な点ばかりではありますが今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく御願いします。



荒木 恭子

出身大学：
筑波大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

はじめまして、平成24年卒の荒木恭子と申します。初期研修は東京医科歯科大学のプログラムで平塚共済病院、東京医科歯科大学附属病院で研修させていただきました。大学病院では7ヶ月間小児科を選択し、各グループをまわらせていただきました。

小児科を志したきっかけとして大きな出来事があったわけではありませんが、中学時代進路を考える時期に医療に興味をもち、小児科医を志していました。大学に進学後もその気持ちはぶれることなく現在に至ります。

後期研修の最初の2年間は茨城県の土浦協同病院でお世話になっています。

不勉強なことが多く、先輩医師をはじめ看護師の方々やメディカルスタッフの方々に助けていただく日々です。最初の半年を小児科、昨年度の10月から新生児科で勤務しています。特に新生児科はハードな日々ですが、赤ちゃんたちの成長やその成長を喜ぶご家族の姿を見て、それ以上のやりがいを感じ、楽しく勉強させていただいています。

休日は不慣れな運転や、体力作りとしての水泳、料理にいそしんでいます。

マイペースなところがあり、ご迷惑をおかけすること多いかと思いますが小児科医を志したころの気持ちを忘れず日々努力していきますので今後ともご指導のほどお願い致します。



五十嵐 真帆

出身大学：
山形大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京北医療センター

平成26年より東京医科歯科大学小児科学教室に入局させていただきました五十嵐真帆です。

平成24年に山形大学を卒業し、初期研修の2年間で東京北医療センターで研修させていただきました。清原鋼二小児科科長をはじめとした東京北医療センターの小児科の先生方に変にお世話になりまして、以前からの憧れであった小児科医師になるべく、小児科の魅力を教えていただきました。

後期研修の1年目は東京医科歯科大学附属病院でご指導いただき、小児科学の各専門分野をローテートし、貴重な経験をさせていただきました。

今年の春から、JAとりで医療センターでお世話になっております。日々の臨床から多くのことを考え、悩み、学ぶ機会をいただきながら、元気になって退院していく子どもたちを励みに働かせていただいております。今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



岡野 翼

出身大学：
福島県立医科大学
卒業年：
平成 22 年
初期研修病院：
埼玉医科大学病院

この度、東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました岡野翼と申します。

私は福島県立医科大学を卒業後、出身地に近い埼玉医科大学で初期研修と2年間の小児科後期研修を行いました。学生時代から基礎医学、特に免疫学に興味がありましたが、小児科医として多くの患者さんと接する中、なぜ感染症に弱い人がいるのか、なぜ炎症・免疫の制御が上手くいかない人がいるのか、なぜ正常人は免疫系の異常を来さないのか、といった臨床免疫学に関する疑問・興味を強く持つようになりました。

今井耕輔先生、森尾友宏先生、当時の水谷修紀教授にお許しをいただき、特例的とは思いますが、後期研修3年目から東京医科歯科大学へ移り、血液・免疫グループでの臨床研修と、大学院で原発性免疫不全症の研究をさせて頂いております。一般の小児科施設ではほとんど目にしないような稀少疾患の患者さんを診療し、またPIDJを介した全国からの免疫不全症疑い症例の相談に接する機会も多く、想像していた以上にとても充実した、刺激に満ちた日々を送らせていただいています。このような貴重な機会を与えていただいた御恩に報いるよう、また自分の持った疑問を少しでも解決できるよう、精一杯勉強させていただきたいと考えております。

今後ともご指導ご鞭撻を賜われればと存じます。よろしくお願いいたします。



永関 剛

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム
(1年目：土浦協同病院、
2年目：東京医科歯科大学)

同窓会の先輩先生方、はじめまして。平成24年医科歯科大卒業の永関(ナガセキ)と申します。学生時代から水谷前教授、チューターでいらした土井先生をはじめ多くの先生方にお世話になり、また短い実習の中で接した患児・ご家族から様々なことを学び、偉大な先輩方の下、患児・家族のために勉強し続けていきたいと思い、この門を叩かせていただきました。

初期研修では森尾現教授からお許しをいただき本学小児重点プログラムとして、1年目は土浦協同病院で、2年目は本学附属病院で研修を積ませていただきました。1年目には2ヶ月、2年目には長期間小児科をローテーションさせていただきました。限られた時間とはいえ、そこでは多くの忘れ得ない、かけがえのない出会い・気付きがありました。多くのご指導頂きました先生方、本当にありがとうございます。

そして2014年、水谷教授最後の入局者であり、かつ61会で森尾教授の前で紹介される初めての入局者という、お二人の教授の下で同窓とならせていただいたことを光栄に思います。

現在は都立小児総合医療センター総合診療科の後期研修医として卒後3年目から5年目までを過ごしている最中でございます。市中病院のようであつ大学のような専門病院という二面性をもった病院で研修しております。

まだまだ若輩者で世間知らずのものです。今後共先輩方のご指導のもと小児医療に精進してまいりたいと思う所存ですので、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



久野 はる香

出身大学：
山梨大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

2014年度入局の久野はる香と申します。幼い頃から病気という病気をすることもなく、風邪をひくのも数年に一度あるかどうか、予防接種をしなくてもインフルエンザ知らず(医師になってからは毎年接種していただいています)、と丈夫なからだが自慢です。

初期研修1年目は大学病院で研修させていただき、2年目以降4年目の6月まで草加市立病院でお世話になりました。現在は川口市立医療センターの新生児集中治療科に勤務させていただいています。診療に必要な知識や手技はもちろん、小児科医としての心構え、患者さんやご家族へのかかわり方など上級医の先生方から日々勉強させていただいています。初めての当直で怖くて仕方のないときに遅くまで見守っていただいたこと、数回目の当直でTGAの新生児が近医から搬送されたときに一晩一緒についていていただいたこと、呼吸障害で近医から搬送された新生児が大啼泣後に気胸になったとき早朝に自宅から駆けつけていただいたこと…。おかけしたご迷惑の数は数えきれません。教育的で愛情深い先生方のもとで、小児科医としての第一歩を踏み出せたことを本当に幸せに思っています。私もいつか先生方のように、子どもたちとご家族を支えられる温かい小児科医になれるよう頑張ります。至らぬ点も多く、先生方にはご迷惑をおかけすると思いますが、今後ともご指導よろしくお願い致します。



平石 知佳

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

2014年度に東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました平石知佳（旧姓 田中）です。

小児科を志したのは中学生のころ、近くの開業医の先生に親切に診ていただいたことがきっかけで、患者さん・保護者の気持ちに寄り添って地域に根ざした小児科医になりたいと思い、2006年東京医科歯科大学に入学しました。卒業後、研修医1年目は横浜市立みなと赤十字病院で、2年目は大学病院で初期研修をさせていただきました。みなと赤十字病院では小児科研修はできませんでしたが、月6回程度の当直のなか1～2回ある小児当直が唯一の楽しみでした。大学病院では、5ヶ月間小児科をローテートしました。1年目の研修で麻酔科にも興味をもち、最後まで悩みましたが、腎グループで溶血性尿毒症症候群で透析まで至った症例を経験し、保護者・医療スタッフが一丸となって全力で回復を信じ治療にあたる姿や、元気になって退院していく姿を見て、入局を決めました。今でも麻酔科の手技は大好きで、腰椎穿刺が一番好きな手技のひとつです。

後期研修では、川口市立医療センターの小児科で1年3ヶ月、2015年7月より東京北医療センターで研修をさせていただいております。川口市立医療センターでは初めての外来業務に苦悩しながらの毎日でしたが、毎回手紙を書いてきてくれる患者さんや、「明日好きな人に会いに行くの」と受診を楽しみにしてくれる患者さんなど、小児科ならではの経験に心を支えられながら、充実した研修を行うことができました。

これからも初心を忘れず、いつか私をきっかけに小児科医を目指したいと思う子どもが出てきてくれたらと思います。日々研鑽を積んでまいりたいと思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。



松本 和明

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学
小児重点プログラム

昨年度、母校でもある東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました松本和明と申します。初期研修は東京医科歯科大学小児科重点プログラムで行いました。

1 年目は土浦協同病院でNICU3週間、小児科5週間のローテーションを、2年目は10ヶ月間大学の小児科とあおぞら診療所墨田、聖路加国際病院小児科と性格の異なる合計4施設を経験させていただきました。免疫不全症や腫瘍に興味があり、大学の小児科では血液グループを4ヶ月ローテーションし、あおぞら診療所ではALL末期の患者さんの自宅での看取りを、聖路加国際病院では多種多様な固形腫瘍を経験することができ、本プログラムを大変満喫させていただきました。学生の時から内科系に興味があり、特に幅広く全身の多種多様な疾患を診ることができ、そこに成長発達という軸を重ね、専門領域では稀少疾患や新規疾患の診療に携わることができるという小児科に最も魅力を感じ、卒業前に入局を決意しました。

後期研修は1・2年ともにJAとりで総合医療センターにてレジデントをさせていただいております。初期研修時と異なり、主治医として入院・外来診療にあたるようになり重責を感じるとともに、特に重症例では院内上級医のみだけでなく、他施設の先生方のご指導を仰ぎつつ主体的に取り組める環境に感謝しながら日々を過ごしております。今後は専門領域の研修や大学院への進学も視野に入れつつ、日々研鑽を積んで参りたいと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



宮原 宏幸

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

2014年度に入局させていただいた宮原宏幸と申します。1987年に鹿児島で生まれ、高校時代まで鹿児島ですごしました。東京に来て10年ほど経ちますが、先日両親と電話をした際に一瞬で鹿児島訛りに戻る自分にびっくりしました。

出身大学は東京医科歯科大学で、卒業後は東京医科歯科大学プログラムで初期研修を行いました。もともと子供と触れ合うことが好きで、医学部を目指し始めたころから小児科に興味をもっていました。初期研修2年目の大学病院での小児科ローテーションの際に小児科医を目指す決意をしました。子供たちの未来を見据えた診療に大きな責任を感じるとともに、そこに関わることができるのが小児医療の魅力でもあると感じたことが決め手でした。

現在は川口市立医療センター新生児集中治療科で箕面崎至宏先生始め、多くの先生方にご指導頂きながら診療をさせていただいております。まだまだ不慣れで大変なことも多いのですが、日々赤ちゃんたちのかわいい寝顔に元気をもらい、「やっぱり小児科いいな。」と思いつつ頑張っています。

これからも診療技術を磨くとともに、子供達と一緒に過ごす時間を大事にし、子供達に信頼してもらえるような小児科医を目指して努力していきたいと思っております。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



村越 未希

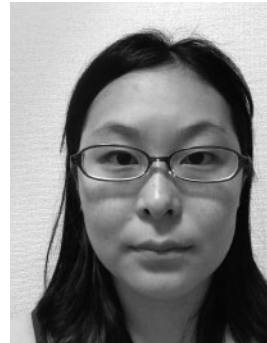
出身大学：
山形大学
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

この度東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました村越未希と申します。現在は川口市立医療センター小児科で勤務させていただいております。出身大学は山形大学で出身は福島県です。初期研修は東京医科歯科大学のプログラム1で1年目を大学で2年目を土浦協同病院で研修させていただきました。3年目は東京北医療センターで勤務し、今年の4月から川口市立医療センターに異動して現在に至ります。

小児科を選んだ理由はもともと子供が好きだったからというのが一番の理由ですが、最近特に感じる小児科の魅力としては病態や状態が純粋なことが多いということです。しかし純粋であるからゆえに状態が急変するときは早いという怖さがあることも感じています。日々の診療に追われていると何気ないことで忘れてしまいがちですが、自分にとっては大勢のうちの一人の患者さんであっても患者さん一人にとっては自分一人が医者であるという責任と自覚をもってこれからも診療に励んでいきたいと思っています。

最後に、最近のもっぱらの悩みとしては運動不足で体がなまってしまっていることです。大学時代は6年間柔道をやっていましたが社会人になってからは運動の機会がめっきり減ってしまいました。医者を目指すと思ったときに高校時代の恩師に「医者は体力勝負だからな」と言われたのをきっかけに大学から柔道を始めましたが、やめしまうと体力はガタ落ちです。一緒に柔道をやってくださる先生がいらっしゃいましたら是非声をかけてください。

まだまだ未熟で至らない点が多いですが今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



森谷 薫

出身大学：
福島県立医大
卒業年：
平成 24 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

同窓会の先生方、初めまして。

森谷 薫と申します。

福島県立医大を卒業し、東京医科歯科大学プログラムで初期研修を行い、東京医科歯科大学小児科に入局させていただきました。

2014年は大学で働かせていただきました。現在は武蔵野赤十字病院で働かせていただいております。

昨年はわたし自身が病気をし、病気になることや治療の辛さや大変さを身をもって経験しました。そして、家族や医師、看護師など様々な医療スタッフに支えられていることを強く感じました。この経験を医師としての今後に生かしていきたいと思っています。

どうぞ、ご指導よろしくお願い致します。